

本小委員会で整理した事項について（案）

- 本小委で整理した事項は、国と連携しつつ、関係する委員会等で引き続き検討を進めていく。

タスクアウトされた検討項目	検討結果
<p>① <u>北本の更なる増強等の検討</u></p>	<p>【ルート・増強規模等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新々北本新設（30万kW, 地内増強なし, 北斗～今別ルート） ・ 旧北本の自励式化の是非： 不要（設備更新時に判断）
<p>② <u>更なる供給力等の対応力確保策の検討</u></p>	<p>【必要供給力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳気象2%, 稀頻度リスク1%※, 計画停止対応4.5% ・ 供給信頼度については、確率論的必要供給予備力算定手法（EUE算定）により評価 ※北海道エリア冬季を除く <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需給検証の考え方、BS電源の検討の進め方を整理
<p>③ <u>レジリエンスと再エネ拡大の両立に資する地域間連系線等の増強・活用拡大策等の検討</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需給調整市場の構築等、引き続き制度整備の検討を実施 ・ 地域間連系線等の増強・活用拡大策の検討は、国での費用負担の議論を踏まえ、必要に応じて検討
<p>④ <u>太陽光・風力発電設備の周波数変動に伴う解列の整定値等の見直し</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電事業者に整定変更を促すとともに、負荷側UFR等の対策を実施 ・ 中長期的には、既連系発電設備の整定変更の義務化も検討
<p>⑤ <u>停電コストの技術的な精査</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外調査結果と国内アンケート結果との間に大きな差異はないことを確認（引き続き停電コストの調査および見直しを検討）

■ 今後は、国と連携しつつ、以下の枠組みで検討を進めていく。

